

2011年



圓環

3月号

通巻 567号

発行所 生長の家ブラジル伝道本部 発行人 村上真理枝

谷口雅春大聖師ご生誕日記念式典



Av. Engº Armando de Arruda Pereira, 1266 - São Paulo

Tel.: (011) 5014-2222 - Website: <http://www.sni.org.br> - E-mail: [enkan@sni.org.br](mailto:enkan@sni.org.br)

# 「新年のご挨拶」

生長の家 総裁 谷口雅宣先生



神の御心実現に勇気をもって

生長の家信徒の皆さん、新年明けまして

おめでとうございます。

今年も変化と可能性に満ちた素晴らしい年がやってきました。世の中では、政治停滞や経済不況、地球温暖化による気候変動が問題視されていますが、これらすべては、「変化」を別の言葉で表しているのです。

日本の政治が停滞しているのは、歴史的な「政権交代」という大変化の後の試行錯誤の時期にあるからです。もし国際政治に停滞があるならば、それは新興国の台頭にともない、従来の先進国が新しい方向へ動き出す準備期にあるためです。これら動きに古い経済がついていけないので、

景気は低迷し、一時的な不況状態が現れているのです。

地球温暖化は、それ自体が一大変化です。

これは決して好ましい変化ではありませんが、人類がこの変化の根因を断つ努力を行い、それに成功すれば、再生可能な自然エネルギーを基礎として、自然と人類が共存する新しい文明を打ち立てることができるでしょう。

私たち生長の家は、そういう重要で、可能性に満ちた人類の活動の「推進者」であり、「牽引役」でさえあります。なぜなら生長の家は、日本の全事業所に太陽光発電を設置し、宗教運動として初めて、環境経営の国際基準であるISO 14001を取得し、その動きをブラジルやアメリカ合衆国

に及ぼしているだけでなく、国内では他の友好教団に同様の動きを巻き起こしつつあるからです。

一般信徒のレベルでも太陽光発電設置者は増えつつあり、昨年からは電気自動車導入のための助成も始まっています。また、これらの「ハード面」を支える精神的な「ソフト面」の活動も盛んになってきました。それは「日時計主義」の生き方を日常的に実践し、すでに与えられている神の恵み、自然の恵みに感謝し、その喜びを表現し、伝える活動です。

二〇世紀に人類の文明は急速な発達を遂げましたが、その原動力の一つは「消費社会」の成立と拡大でした。そこでは人間の欲望が「善」とされ、経済発展の基礎とされたために、消費社会の拡大は自然環境の破壊と資源の浪費を生み出しています。この動きが地球規模で進行しているため、地球環境問題が深刻化する一方で、大国による資源獲得競争が起こっているのです。

宗教はもともと人間の欲望の拡大に異議を唱え、それを制御して「他に与え」、「他と共存する」価値を説いてきました。生長の家が進める「日時計主義」は、深い宗教的・哲学的基盤をもつだけでなく、この目的に合致した手軽に実行できる生活法、自己啓発法としても、多くの人々に受け入

れられてきました。それは物質的豊かさによらずに幸福を増進する方法であり、今まさに人類が必要としている「省資源」、「省エネルギー」の生き方です。

私たちはこの日時計主義を実践し、広く人々に伝えていくとともに、仏の四無量心、神の無限の愛を人々のみならず、自然界にもおよぼしていく同志を数多く輩出することによって、「自然と共に伸びる」運動を今年も力強く推進していきましょう。

時あたかも、生長の家が「森の中のオフィス」を設けて国際本部を移転する土地も決まり、職員寮の場所も決まり、建物の設計も進んでいます。周囲の自然環境を傷つけず、しかも、完成時には「炭素ゼロ」で業務を始めるための数々の工夫が取り入れられた、類例のない施設になる予定です。信徒の皆さまの暖かいご支援の賜と、心より感謝申し上げます。

本年も共に、神の御心実現のための運動を明るく、勇気をもって展開していきましょう。

# 「若返りの秘訣」

せいちょう いえ きょうかそうちょう むかい よしお  
生長の家ラテン・アメリカ教化総長 向 芳夫



がっしょう  
合掌、ありがとうございます。

とし あ ま ことし あたら き かく  
年が明けてまず今年こそはと新しい企画に  
ちょうせん いよく で おも  
挑戦する意欲が出てくると思います、そこで一  
ばん しょうがい じ ぶん ねんばい しょうらいせい  
番の傷害は自分は今より年配だから、将来生がな  
いと、記憶力がおとろえたとか、自分で自己  
げんてい こと  
限定をする事はやめましょう。

さいきんよ ほん のう わかがえ たかだ あきかずちよ  
最近読んだ本で「脳が若返る」高田明和著に  
つぎ か たら こと かんが  
次のことが書いてありました。「新しい事を考  
はじ じっこう なん あたら  
える、始める、実行する、何でもよいから新し  
いものに挑戦する意欲を持つことが先ず肉体が  
わか けつ のう わかがえ  
若返る秘訣であり、「脳」を若返らすことになる。」

わたしたち せいちょう いえ だいせいし たにぐちまさはるせんせい  
すでに私達は生長の家で大聖師谷口雅春先生  
から 80 才になっても希望のある者は青年であ  
ると教わっております。

せいちょう いえ おし つた あいて もんだい  
生長の家の教えをお伝えしますと相手が問題  
かいけつ あたら き ぼう も いよくてき かつどう  
を解決して新しい希望を持って、意欲的に活動  
すがた たの かん とく せいねん あいて  
する姿は頼もしく感じ、特に青年を相手にそ  
しょうらい いっしょ はな あ き ぼう  
の将来を一緒になって話し合っってその希望を  
じつげん きょうりよく じ ぶん  
実現することに協力してあげることは、自分の  
せいめいりよく の こと おお おお  
生命力が伸びる事になりますので大いに多くの  
せいねん そうだんあいて  
青年の相談相手になってください。

とく わかが ひ けつ き おくりよく おとろ よう た  
特に若返りの秘訣は記憶力を衰えない様に絶  
くねん こと たと なに おも だ  
えず訓練する事だそうです、例えば何か思い出  
とき で き しょうさい おも だ  
す時、出来るだけ詳細に思い出すようにする、

かんれんせい おお おも だ はなし ゆた  
または関連性で多くのことを思い出し話を豊か  
ひょうげん たと み  
に表現する。例えばテレビを見ている時新しい  
か しゆ やくしや な まえ おほ れんしゆう く  
歌手とか、役者の名前などを覚える練習を繰り返  
かえ こと のう かつせいか  
返す事などが脳の活性化になる。

もし最近もの覚えが悪くなった、と気づい  
とき く かえ おも だ どりよく  
た時に繰り返し思い出す努力をする、そうする  
こと き おくりよく かいろう かつせいか  
事によって記憶力の回路を活性化することにな  
ります。そのままほうって置くと益々、ボケが  
はげ 激しくなり、記憶の回路が動かなくなります。

き おくりよく れんしゆう く かえ こと かいろう  
記憶力も練習を繰り返す事によってその回路が  
もと い ぜん おな き のう はつき  
元にもどり、以前と同じ機能を発揮するように  
なりますので、練習の結果進歩があったら思い  
き じ ぶん しょうさん おお よろこ たいせつ  
切り自分を賞賛して大いに喜ぶことが大切で  
よう わたしたち にくたい くんれん こと  
す。要するに私達の肉体は訓練する事によっ  
あたら さいぼう けんこう い じ  
て新しい細胞がつくられ健康が維持されますの  
ことし い よくてき こうどう しょくば  
で今年こそは意欲的に行動して職場においても  
あたら ちょうせん こうどう けんこう にくたい  
新しいことに挑戦し、行動するには健康な肉体  
さいだい じょうけん にくたい きた  
が最大の条件ですのでしっかり肉体を鍛えてく  
ださい。

わたし じん わか ころ すいえい  
私 自身も若い頃は水泳をしておりましたの  
ふたた れんしゆう すいえい からだ きた にくたい けんこう  
で、再び練習をして水泳で体を鍛え肉体の健康  
い じ のう おお かつせいか みな  
を維持して脳も大いに活性化して皆さんとご  
いっしょ じんるいこうみょうかうんどう こくさいへいわ しんこううんどう あたら  
一緒に人類光明化運動・国際平和信仰運動の新  
ほうしん む まいしん しょぞん さいはい  
しい方針に向かって邁進する所存です。再拝

# 「先祖供養の大切さを再認識」

せいちょう いえ でんどうほんぶ り じちよう むらかみ まり え  
生長の家ブラジル伝道本部理事長 村上真理枝



がっしょう  
合掌、ありがとうございます。

せいちょう いえ まいとし がつ こうれい  
生長の家では、毎年4月は恒例のブラジル  
ほうぞうじんじやたいさい かいさい つき ほうぞう  
宝蔵神社大祭が開催される月であります。宝蔵  
じんじや せんぞ まつ ほうぞう  
神社にご先祖さまをお祀りすることは、宝蔵  
じんじや しず ほんぞん しんれい せいちょう いえ おおかみ  
神社に鎮まります本尊神霊：生長の家大神  
すみよしおおかみ おおくにぬしのみこと だいち かがみ れいかい かがみ  
(住吉大神)、大国主命(大地の神、霊界の神、  
えんむす かがみ かんぜ おんぼさつ じ ひ かがみ すがた  
縁結びの神)、観世音菩薩(慈悲の神、33の姿  
み へん じ ひ みほとけ じ ぞうだいぼ さつ じ どう  
に身を変える慈悲の御仏)、地藏大菩薩(児童  
しよれい まも み ほとけ あ み だによらい なや もの  
の諸霊を守る御仏)、阿弥陀如来(悩める者を  
みちび いや みほとけ とも れいかい せんぞ げんかい  
導き癒す御仏)と共に、霊界のご先祖と現界の  
し そん ちから あ じんるいこうみょうかうんどう すいしん  
子孫とが力を合わせて人類光明化運動を推進す  
るという素晴らしい意義があります。

ほうぞうじんじや しんでん つぎ みつ ぶ ぶん  
宝蔵神社の神殿は次のように、三つの部分に  
わ 分かれています。

しうん でん えいたいくよう せいこん さいし ぼしよ  
紫雲伝：永代供養の聖魂が祭祀されている場所  
ほうぞうぐう せんぞ れいはい いっぱんれいはいなら りゅうざんじれいはい  
宝蔵宮：先祖霊牌、一般霊牌並びに流産児霊牌

さいし ぼしよ  
が祭祀されている場所

こうみょうぐう れいぐうせいし めいかいいん せいこん さいし  
光 明宮：霊宮聖使命会員の聖魂が祭祀されて

ぼしよ  
いる場所

じんじや まいにち かい ねん にちかんさいし  
神社では毎日5回、年365日間祭祀による  
く よう まいあさく もつ そな ゆうがた  
供養がおこなわれ、毎朝供物をお供えして夕方  
それを下げます。

ほうぞうじんじや いの ささ い み じんじや ほうし  
宝蔵神社に祈りを捧げる意味は、神社に奉祀  
かがみ かんしや ささ なら みちび いただ  
せる神々に感謝を捧げ、並びにお導きを頂くこ  
さいはい  
再拝

じんじや ほうし かがみ かも し どう う  
と、神社に奉祀された神々に護られ、指導を受  
けている先祖の霊に感謝を捧げること、神社を  
しゆご かがみ じんるいこうみょうかうんどう ほんてん  
守護する神々に人類光明化運動の発展のための  
し どう ねが など とうと い み  
ご指導を願うこと等の尊い意味があります。

ぞんじ とお ねん がつ  
ご存知の通り、2009年一月よりブラジル  
せいちょう いえ しゆう  
生長の家はリオ・グランデ・ド・ノルテ州、マシャ  
ラングアッペ市に290名の生徒を有する学校の  
けいえい たんとく ねんよ  
経営を担当していますが、2009年及び2010  
ねん ほうぞうじんじやたいさい せいちょう いえめいぎ ぜんせいと  
年の宝蔵神社大祭には、生長の家名義で全生徒  
の先祖の霊牌を合祀し、今年も同様に致しま  
せんぞ れいはい ごうし ことし どうよう いた  
すが、そのためか、月々の学校の父母の会に  
さんか しゃ かず ふ かいごう かに ちょうわ  
参加者の数が増え、その会合で「家庭が調和に  
なりました」、「以前のように夫が暴力を振るわ  
なくなりました」、「夫婦喧嘩が少なくなりました」  
など ほうこく ふ ほうぞうじんじやたいさい はな  
た」等の報告が増え、宝蔵神社大祭の話しを  
らいねん わたし れいはい  
すると、「それでは、来年からは私たちに霊牌  
ようい くだ い すば たいけん  
を用意させて下さい」と言う素晴らしい体験が  
ぞくしゆつ かんしや かんしや う  
続出しています。まさに感謝は感謝を生むので  
あります。

せんぞ ほうぞうじんじや まつ なに  
ご先祖を宝蔵神社にお祀りすることは、何か  
かげ え まごころ ささ  
のお蔭を得るためではなく、ただ真心を捧げる、  
かんしや ささ さいにんしき とうと  
感謝を捧げるためであることを再認識し、その尊い  
きもち ことし ほうぞうじんじやたいさい のぞ  
気持ちで今年も宝蔵神社大祭に臨みましょう。  
さいはい  
再拝

# 「谷口雅春大聖師ご生誕日記念式典」



2010年11月28日午前8時55分、谷口雅春大聖師のご生誕日記念式典が生長の家ブラジル伝道本部大講堂において開始。参加者は約750名。

最初に生長の家の環境政策に関するビデオが発表された。次いで、ブラジリア教化支部のコーラス隊15名の発表があった。大聖師谷口雅春先生の一生を語るビデオが紹介された後、来賓の紹介が行われた。午前9時35分、式典の開会宣言とともに、ブラジル生長の家理事会・中央教化組職代表者会のメンバー及び本部講師補の司会者・田丸英男・野中メイリが挨拶し、拍手喝采で大聖師谷口雅春先生を讃えるよう、会場の参加者に呼びかけた。そして、聴衆、来賓の方々、また大聖師谷口雅春先生ご生誕祝の席において表彰を受けられる

方々に感謝の言葉を述べた。理事長の挨拶の後、ラテン・アメリカ教化総長向芳夫本部講師が招神歌を唱え、谷口雅春大聖師ご生誕日記念式典祝詞を奏上された。

その後、生長の家青年会ブラジル本部事務局員、同本部コミュニケーション及びテクノロジー部員であるヘナン・ホランさんが、親を赦すことの大切さについて自分の体験を語った。続いて、聖市第4教化支部の宮原かずこ元連合会長が日本語で体験談を発表。完全な神の子であることに目覚める重要性について語った。その後、司会を務める田丸秀雄・ルイス講師が体験の要をポルトガル語に訳した。

参加者一同による聖歌「神霊降誕譜」斉唱の後、ラテン・アメリカ教化総長向芳夫本部講師が、「海外光輪賞」を石井かずえ



「祝辞を述べる 向芳夫教化総長と村上真理枝理事長」



講師、エジッチ・リベイロ・テラ講師、井坂とし子講師、マリア・ルイザ・ジメネス・ファーヴァロ講師、アビガイル・ゴメス・チノコ講師に授与された。次いで、ルイス・マヌエル・アラウージョ講師に、「海外布教功労賞」の表彰状が手渡された。その後、毎月普及紙100部を超過する数を頒布した182名を代表して、藤永パウロ講師が授与された。そのうち、90名がポルトガル語組織、69名が日本語組織、その他の23名は生長の家伝道本部から直接受け取った方々であった。「2010年度努力賞」は、アンナ・アルヴェス・ドウトラさん、レオニッセ・レゼンデ・デ・カストロ・アルカンジョさん、ライネス・ピエール・レイテさん、尾崎いくこさんが授与された。「海外光輪賞」のオデッテ・マリア・ドス・サントス・ラデイラさん、「海外布教功労賞」のアンナ・クラウジア・ダ・ロッシヤ・タカハシ・ビアンキニさんは欠席のため、後日表彰状が渡された。

生長の家ブラジル伝道本部コーラス隊の発表後、マリア・アッスタ・ヴィーラ・ペイシェさん講師が記念公演を行い、み教えをお伝え下さった大聖市に感謝し、『真理』第7巻をテキストに、生長の家のみ教えの三つの基本的原理である、縦の真理、横の真理、そして万教帰一について語り、400冊以上の聖典を残して下さった谷口雅春先生を礼拝し、感謝の真心を捧げることの大切さについて語った。講話終了後、ご生誕祝のケーキと記念品が参加者全員に手渡された。最後に、参加者一同が大聖市ご生誕を祝して「ハッピー・バースデー」を合唱し、式典は終了した。



「司会者・田丸英男・野中メイリ」

# 「定期総会・代表者会議」

2011年に向けて、運動に新しい方向付けを



「新理事会のメンバー」

ブラジル生長の家が進むべき方向について、2010年11月5日から7日の週末にイビウーナ南米練成道場で討議承認がされた。このため、全国代表者会議、全国教化支部長懇談会、定期総会、全国連合会長会議といった4つの異なる行事が同練成道場で開催された。

単位組織を運動の基礎的存在として確立する一連の措置であるところの組織機構の再構成など、重要なイニシアティブを予定した生長の家ブラジル伝道本部運動方針「3カ年計画」第2年度(2011年)の補足行動計画が、出席者全員に紹介された。また同計画は、相互扶助に力を入れ、後継者を養成するという共通の課題から発想した組織間の協力により、拠点強化するため

の政策も宣言した。同資料は、運動の拡大を促進するため、書籍・神誌の頒布と使用に特別留意する、練成道場で行われる練成会への参加者の流れを増やす、自宅・商店・工場において、宗務活動を行い(例えば、先祖供養など)生長の家の生活法を普及する媒介とする、という3つの措置について詳しく述べる項目から成っている。

また、サンタ・フェ及びサンタテクラ練成道場のISO14001認定取得に向けての準備開始、生長の家植林育林の事業を実施に移すことで補足行動計画の全部とした。定期総会では、2011年度予算案を承認し、2011年補足行動計画そのものをも承認した。さらに同じ行事において、生長

の家ブラジル伝道本部の新理事会が選出された(理事会構成員の氏名はこの同じ記事で参照)。

集いの最終日、イビウーナ練成道場に出席された全員が、ともに大講堂で今年ブラジル生長の家が立ち上げつつあるポータルサイトの運用プロジェクトの紹介と、ブラジル生長の家団体が調和財団の運営により、収めている成果についての説明があった。(Circulo da Harmonia 翻訳転載)

## 「新理事会メンバー」

任期 - 2011年3月1日 ~ 2014年2月28日 (敬省略)

- 理事長 ・ 村上真理枝
- 副理事長 ・ 寺前継男
- 理事
  - ・ 中野セウエチ
  - ・ 江野村薫男
  - ・ エヂソン・シュワルス・デ・メーロ
  - ・ ジョゼ・アダルトン・デ・オリベイラ
  - ・ 田丸ルイス英男
  - ・ サウル・アントニオ・ブランダーゼ
  - ・ 大越アパレシーダ玉恵
  - ・ エミリオ・サンチアゴ・リバス・ロドリゲス
  - ・ イボネ・ゴメス・オランダ
  - ・ ジャイロ・オリベイラ・サンターナ
  - ・ カチア・メトラン・サイタ
  - ・ 清水 梶 壱
  - ・ 横山マリオとしあき
  - ・ バウデミール・デ・メーロ
  - ・ アニーバル・フェレイラ・デ・リマ・ネット

## 「中央教化組織代表者会議メンバー」

任期：2011年1月1日 ~ 2013年12月31日 (敬省略)

- 議長 ・ 向芳夫
- メンバー ・ 村上真理枝
- オブザーバー ・ 寺前継男
- オブザーバー ・ 中野セウエチ
- メンバー ・ 宮浦準治
- ・ 大島アントニオ正太郎
- ・ 田丸ルイス英男
- ・ リリアン・スジ・バッフィ・ノリマツ
- ・ カルロス・アルベルト・ダ・シルバー
- ・ 高橋信次
- ・ 大貫ルイス武雄
- ・ 宮崎映人
- ・ フェルナンド・アントニオ・メンデス・マルケス
- ・ マリオ・ガブリエル・フランサ・シルバー
- ・ エドワルド・ヌーネス・ダ・シルバー
- ・ ジョゼー・アダルトン・デ・オリベイラ
- ・ マリア・アメリカ・カミロ・テイシェイラ
- ・ マルコス・ロジェリオ・シルベステリ・パス・ピント
- ・ 石井ルイス

◆ 我を忘れた愛が惟神の愛である。  
 神流れの愛である。  
 神催しの愛である。神と偕なる愛がある。  
 大菩薩の愛である。  
 (智慧の言葉)

# 「第44回神性開発 “寿” 練成会」



去る12月3日～5日の3日間、イビウーナ南米練成道場に於いて、第44回神性開発 “寿” 練成会が開催された。

霊氣溢れる聖地イビウーナに700名を超える大勢の菩薩が喜び勇んで参集した。

90歳以上の方が14名参加された。この14名の受講生の皆様に聖教『甘露の法雨』がプレゼントされた。

3日間、それ程暑さを感じることなく練成会日和であった。

指導講師は小野寺賢慈本部講師補、松田まさお 雅生本部講師補、中村晃児講師、城代洋講師、森本敦子講師。

特別指導講師はラ・米教化総長向 芳夫

本部講師、山本ジュリア講師。

初日第一講話は「病気に勝つには」のテーマで小野寺賢慈講師によって行われ、「病気を治す根本原因はあなたの生命力である」と話された。次いで、森本敦子講師は「思いやり、愛することが人間の使命」で「思いやりの心が愛することで、まず自分が実践して、模範となることが大事だ」と語られた。

午後の講話は、城代洋講師で「地獄と極楽」。神の子を知っただけでなく、神の子を實踐すること、そして真心と愛があればここは天国浄土であると話された。

次いで、「浄心行の実修」のテーマで城代

洋講師が真心、熱意溢れる実修を行い、受講生の皆さんは涙を流しながら真剣に父母に感謝を捧げた。浄心行によって救われた方が大勢おられた。

二日目の第一講話は小野寺講師による「神想観の説明と実修」。「神想観こそ人類光明化運動の基礎である」と話された。

第二講話「いのちが悦ぶ生活」のテーマで山本ジュリア講師は“人生で起きる全てが偶然に起きると思うと、人間は偶然の奴隷となる”と話された。次いで、第三講話は、向芳夫本部講師による「生長の家の信仰」。生長の家の教えは“自分を浄めること”であると、実に分かりやすく説かれた。

午後の行事は笑いの練習、聖歌斉唱に続き、森本敦子講師による講話「よろこびの先祖供養」が行われた。家族それぞれが独立しても先祖を祭り、供養をする大切さについて語られた。続いて「住吉大神の使命」のテーマで城代洋講師が、住吉大神が祭られた由来について話された。

美味しいカフェーの後に小野寺本部講師補が「聖使命菩薩讃偈」が何故作られたかを説明された。“皆さんを聖使命菩薩として礼拝し、その実相の完全さを呼び出し、悟りに導くためである”と語られた。この後、松田雅生本部講師補によって先祖供養祭が行われた。

三日目で最後の日は、城代講師による「祈り合いの神想観の説明と実修」が行われた。ひたすら相手の幸福の為に祈る。祈り



「聖市第二教化支部」 「元気いっぱいの子供会の発表」

合いの神想観は最も神の心になかった神想観である。そして祈る側の心構え“相手を癒すに非ず、自分の心を癒すなり”。祈られる側の心構えは懺悔と切なる願望、報恩、愛行の決意。次いで、中村晃児講師による「塩椎の会の輪を広げよう」の講話の中で、いつまでも若く、長生きしたい人は、世の中全体のために働くこと。そして80歳、90歳になっても心の邪魔をする常識をやぶれば、幸せになる。この素晴らしいみ教えを真剣に学び、霊的人間のいのちの輪を広げて行きましょうと語られた。次いで、聖市第二教化支部子供会の発表が行われた。

最後の結語で小野寺本部講師補は子供会の発表について、“これからこのような素晴らしい子供会、ジュニア会を各地に発会し、ここにおられる皆様がその指導者となり、生長の家の後継者を育てることが私達の使命であります。”と締めくくり、三日間の“寿” 練成会は終了した。

# 「第4回ブラジル生長の家の聖歌隊発表会」

ブラジル全土から集まる15のコーラス隊



2010年11月27日、午後1時から作詞歌又ピアニストとして名を知られる、故アルメイダ・プラドを偲んで、娘でもあるバイオリニストのコンスタンサ・アルメイダ・プラドとその妻でピアニストのエレニーセ・アウジの演奏で第4回ブラジル生長の家の聖歌隊発表会が伝道本部大講堂に於いて厳かに開催された。

開会の挨拶で宮浦準治本部講師は“このイベントは哲学（喜びと調和の波動）、文化（詩とメロデーの美しさ）そして慈善の三つの目的がある”と語った。

今年も参加者一人一人が1キロの食料品を会場に持参し、それがフランシスコ・モラット地区の貧しい家族へ寄贈された。約420キロの食料品が集まった。

十五団体のコーラスが次々と美しい音色の聖歌、世界の名曲を口語、ポ語で演じ、聴く

人の心を愛と美の世界へ誘った。各聖歌隊の発表後、約30の生長の家の書籍、CDの抽選が行われ、Tabi Turismo（旅行社）からアルゼンチン、ブエノスアイレス行きのチケットが寄付された。この旅行券を獲得されたのは、ノロエステ第2教化支部の87歳で今大会の最年長のコーラス隊員くもと・としみつさんだった。生長の家講師ひとり ちちおやでもあるくもとさんは“歌うことによってしあわせになり、そしてたくさんの富がえられる”と喜びいっぱいの笑顔で語った。

閉会の挨拶を理事長・村上真理枝本部講師が行い、各聖歌隊のレベルの上昇、衣装の美しさなど、皆様の愛と努力に激励と感謝の言葉を贈った。

最後にコーラス参加者全員が舞台上がり、会場の皆様と共に讃春歌を斉唱した。

連載・真理の勉強（第30回）

## 『一番大切なもの』

谷口清超先生著



さらに基礎作り

「物づくり」には素材が大切だとなると、それを作る道具が又その基礎になり、とても大切な道具だと言えるだろう。そこで西岡さんは木を切る道具についても詳しく書いている。鋸やノミ、カンナ専門の鍛冶屋がいて、播州・三木でいいものを作っていたという。しかしそれらの道具も、鉄がいいものでないとつukれない。有名な刀鍛冶は、「法隆寺の古釘でしか良い物はできん」と言ったそうだ。しかし刀は高くついても高く売れるが、宮大工さんはそうはいかない。

ヤリガンナでも一丁七万五千円もしたそう。むかしはカンナはもっぱらヤリガンナを使ったが、槍先のような金具に、曲がった長い柄がついている。これで削るには技術がいるが、古い寺院などはこれで削られて、暖かみが出る。その後、台ガンナになったが、これも材木を置く台が少しでも傾いていると、きれいな削りが出来ない。だから優れた腕の大工さんは、この“削り

台”からまず水平に削るのだ。

その削りでもカンナの刃がよく研がれていないとだめだから、優れた大工さんは砥石を平らにして、と言う風に、“基礎の物づくり”をやらなければならない。それにはどこまでも「練習」であり、「訓練」だと言われる。そこで「物づくり」は「人づくり」となるが、「人」と言っても肉体ではなく「心」のことだ。ではどんな心かと言うと、宮大工の棟梁たる西岡さんは、こう書いておられる。『こうした建造物をつくるには、仏教を信ずるといふ心がないとできません。近頃、日本人には宗教心がないわけていますが、どうなりますかな。

仏教はキリスト教やイスラム教とはちがいますわね。

仏教は自分自身が仏様である。それをしただけだと。神も仏もみんな自分の心の中にあるちゅうことをいうてるんですわ。ほかの宗教は、神様は人間界を離れた上にあると考えている。

そこが違うんやね。そうしたことが忘れられてしまったんや。

ほうりゆうじ やくしじ かこ たい  
 法隆寺にしる、薬師寺にしる過去に対する  
 そんけい れいはい ば しょ  
 尊敬の礼拝の場所です。

ほうりゆうじ だいこうどう いちばんおお  
 法隆寺では大講堂が一番大きいでっしゃ  
 やくしじ  
 ろ。薬師寺でもそうだったんです。

だいこうどう い ぶつきょう う  
 この大講堂から生きた仏教が生まれてい  
 あたら ぶつきょう  
 くんですな。新しい仏教が。

いみ だいこうどう  
 そういう意味では、大講堂がなければ、  
 がらん がらん い  
 そんな加蓋は加蓋とは言えません。

(15) だいこうどう  
 また、大講堂ができて、ちゃんと説教  
 ひと おらな こま  
 できる人がおらな困ります。(後略)』(『木  
 まな  
 に学ぶ』214 — 215 頁)

かみ こ にんげん ぶ し おし  
 つまり「神の子・人間、仏子なり」の教  
 しん せつきょう  
 えを信じ、かつ説教する、しっかりした人  
 ただ (16) おし ぶきゆうてつてい  
 がいて、その正しい教を普及徹底しなけ  
 げんきゆう (17)  
 ればならないことにまで言及しておられた  
 (18)  
 のである。

いさぎよ い  
 潔く生きよう  
 (19)

ゆいぶつしゆぎ しゅうきょう  
 唯物主義と宗教  
 (20)

よ なか ぶつしつしゆぎ ひと せいしん  
 世の中には「物質主義」のひと、「精神  
 しゆぎ ひと い (21) (22)  
 主義」のひとがいてと言われている。し  
 かしこのわけ方はたいへん大ざっぱで、  
 いちおうぶつしつ せいしん う かんが  
 一応物質から精神が生まれると考えている  
 ゆいぶつろんしゃ いっけんしんこう ひと  
 “唯物論者”や、一見信仰をしている人の  
 ぶつしつてき だい ひとびと  
 ようでも、物質的オカゲ第一の人々で、「い  
 あたま しんじん  
 わしの頭も信心から」といわれるような  
 しゆるい ひと た ほう せいしんしゆぎ い  
 種類の人もある。他方「精神主義」と言う  
 ゆいしんろん ひとびと (23) せいしんいっとうなにごと な  
 と、“唯心論”の人々や“精神一到何事か成  
 (24) き がい ひとびと あ  
 らざらん”といった気概の人々を当てるこ  
 (25)

で き しん しゅうきょう しん  
 とも出来るだろう。しかし真に宗教を信ず  
 ゆいしんろん こ はず  
 るものは、“唯心論”を越えている筈である  
 (26) すべ  
 が、世間の宗教が必ずしも全てそうとは言  
 (27) なか こと おし  
 い難い。中にはずいぶんひどい事を教えた  
 おこな しゃかいもんだい はんざい おか  
 り行ったりして社会問題となり、犯罪を犯  
 (28)  
 して有名になってしまったりする教え(？)  
 で く しんり  
 も出て来るのである。かつてのオウム真理  
 きょう しゆるい しゆはんかく しゆさいしゃ  
 教などはこの種類で、主犯格の“主宰者”  
 さいばん ほうてい ひ だ ころ (29) せ かい  
 が裁判の法廷に引き出された頃には、世界  
 おも くにくに げんしょう  
 の主な国々でもこの“現象”をこんなふう  
 ろんびょう (30) へいせい (31) ねん がつ にち  
 に論評していたと、平成8年4月26日の  
 (32) よみうりしんぶん しょうかい  
 『読賣新聞』に紹介してあった。

「イギリスのメディアは、「オウムとと  
 に ほんしやかい ないじょう あき さいばん  
 もに日本社会の内情が明らかになる裁判」  
 (33)  
 (フィナンシャル・タイムズ紙)といった  
 してん ちゅうもく し しゃせつ  
 視点でも注目している。タイムズ紙は社説  
 (34) げんだいに ほん きょういく あ かた か ぞく  
 で「現代日本の教育の在り方、家族のきず  
 だんぜつ ぶつしつしゆぎ さいばん  
 なの断絶、物質主義といったことが裁判の  
 (35) はいご と してき  
 背後で問われている」と指摘した。」

さらにパリの鶴原徹也記者から、  
 つるはらてつや き (37) しゃ  
 『フランスのル・モンド紙は25日、オウ  
 し にち  
 ム裁判が日本で非常な注目を集めている点  
 さいばん に ほん ひじょう ちゅうもく あつ てん  
 について、「米国のシンプソン裁判に匹敵す  
 (38) べいこく (39) さいばん ひつてき  
 る。単なる刑事裁判ではない」としたうえ  
 たん けいじ さいばん  
 で、「このセクトの漂流ぶりは(日本社会の)  
 ひょうりゅう に ほんしやかい  
 不安の現れだ」と分析。  
 ふ あん あらわ ぶんせき (40)

いっぼう (41) はん  
 一方、フィガロ紙は半ページをさき、「テ  
 きょうそ さいばんかん あなど おお  
 ロリスト一教祖、裁判官を侮る」との大  
 み だ あさはら ひ こく ざいじ (42) りゅうほ  
 見出しで、麻原被告による罪状認否留保  
 (43) さいばんてき つた き じ (44)  
 を裁判的に伝えた。記事はまた、「オウム  
 しょうこうぐん に ほんじん せいしんてきがいしょう さいばん  
 症候群による日本人の精神的外傷が(裁判  
 (45)

つう  
 を通じて) いやされることになろう」と  
 ぶんせき  
 分析して来る。』と。

たしかにこのような大量の人命を犠牲に  
 たいりょう じんめい ぎ せい  
 してテロ事件は、日本の社会的不安を基礎  
 じ けん に ほん しやかいてきふ あん (47) きそ  
 にしているし、一方唯物論的な教育の行き  
 いっぼうゆいぶつろんてき きょういく ゆ  
 渡った日本社会の矛盾を露呈しているだろ  
 わた に ほんしやかい むじゆん ろ てい  
 う。大学教育まで受けた若者の多くがオウ  
 だいがくきょういく う (48) わかも (49) おお  
 ム事件に関与していた事実は、現代の学校  
 じ けん かんよ じ じつ げんだい がっこう  
 教育が人間のいのちの尊さや、神乃至仏の  
 きょういく にんげん (50) とうと かみないし ほとけ

ほんしつ おし しめ  
 本質についてなにも教えていないことを示  
 している。

けっか  
 その結果、  
 もくてき しゆだん えら  
 「目的のためには、手段を選ばない」  
 (51)  
 という、マルクス・レーニン主義的手法  
 しゆぎ てきしゆほう  
 による自己満足の目的への無茶な手段を  
 じ こ まんぞく もくてき む ちゃ しゆだん  
 と 取ったのであり、吾々はこのようなものを  
 (52) われわれ  
 正しい「宗教」とは見なさないのである。

(01) 素材 material	(02) 基礎 a base, o alicerce	(03) 鋸 serrote	(04) ノミ cinzel
(05) カンナ plaina	(06) 鍛冶屋 ferreiro	(07) 古釘 prego antigo e usado	(08) 柄 cabo
(09) 寺院 templo budista	(10) 材木 madeira	(11) 水平 horizontalmente, na horizontal	
(12) 優れた um excelente, um ágil	(13) 砥石 pedra de amolar, de afiar		
(14) 宗教心 espírito religioso	(15) 伽藍 templo	(16) 説教 sermão, pregação	
(17) 普及徹底 propagar totalmente	(18) 言及 referir	(19) 潔く bravamente	
(20) 唯物主義 o materialismo	(21) 物質主義 materialista	(22) 精神主義 espiritualista	
(23) 他方 mas, por outro lado	(24) 唯心論 filosofia espiritualista		
(25) 気概の人々 pessoas com ânimo ,coragem	(26) 越えて superar	(27) 世間 da sociedade	
(28) 犯罪を犯して cometer um crime	(29) 主犯格の主宰者 o líder principal da infração		
(30) 主な principais, importantes	(31) 現象 fenômeno, acontecimento	(32) 論評 comentar	
(33) 内情 situação	(34) 視点 ponto de vista	(35) 断絶 rompimento	
(36) 背後 nos bastidores, por trás	(37) 指摘 apontar	(38) 非常な注目 atenção excepcional	
(39) 匹敵 comparável	(40) 漂流 correnteza	(41) 分析 análise	(42) 侮る desprezar, menosprezar
(43) 大見出し manchete	(44) 罪状認否留保 deixar em suspenso o reconhecimento ou negação		
(45) 精神的外傷 trauma (psicológico)	(46) 人命 a vida (humana)	(47) 犠牲 sacrificar	
(48) 矛盾 contradicção	(49) 露呈 revelar	(50) 関与 participar, tomar parte	
(51) 手段 o meio ,o recurso	(52) 自己満足 auto-satisfação		

ち ほう だよ  
地方便り

# 「コンピュータ教室・第一期生の卒業式」



さ 去る 2010 年 12 月 11 日、聖市第一教化支部 (Ibituruna 会館) にてコンピュータ教室の第一期生の卒業式が午前 11 時から、とおこな 執り行われた。

この教室は 2010 年 8 月 9 日にスタートし、週一回のレッスン、受講生の平均年齢は 75 歳。皆背筋が伸びて、達成感あふれる表情で輝いていた。中には目標ができて、元気になったと言われる方もいた。

受講希望者が殺到したため、今では週 3 回授業を行っている。

この教室の始まりは 2004 年、故連邦議員 Paulo Kobayashi の跡継 Victor Kobayashi が亡き父の意向を次いで、IPK ( Instituto Paulo Kobayashi) を創立し、JCI ( 日伯商工会議所) と協同で 中高年向けのインターネット教室を始めた。

“コンピュータをリサイクルすることに

よってまず自然を破壊する有害物質の発生を防ぎ、リサイクル商品を収集する人に収入を与え、又新製品への変え買えを防ぐことができる、” と Victor Kobayashi は語る。IPK は三菱商事、Banco Real、Banco do Brasil、IBM の援助を受け、今現在では 26 の教室を運営している。

第一教化支部で使われていた 10 台のリサイクル・コンピュータもその支援から受けたもので、使っていくに寄って色々なラブルに直面し、生長の家の 4 者の寄付を受け新しいコンピュータを購入することができた。

教化支部長の段上好美先生の後押しがあって、IPK のジャルデン・ダ・サウデ教室から、モニタの方、同支部でインターネットができる方、合わせて 5 人のボランティアの方が 2 クラス、24 名の受講者に丁寧にマウスの扱い方から教えた。初級

コース (4 ヶ月) を終え、今ではインターネットでのメール交換、文書、絵の作成が出来るまでになった。

卒業式の挨拶の中で段上教化支部長は IPK の Victor Kobayashi、JCI のアレシアン ドレ川瀬、IPK から派遣して来られたファビオ大野先生、ボランティアの皆様へ感謝の言葉を述べ、受講生のみなさんに激励の言葉を贈った。続いて、Victor Kobayashi の

挨拶で、受講生にお祝いの言葉を送り、“これから地方に一つでも多くの教室を開いて行き、又一人一人の受講生が他に教えられるようになってほしい、” と述べた。

挨拶の後、卒業証書が手渡され、絵と文書の部門それぞれで優勝された方々に特別章が送られた。最後にカクテルパーティが行われ、和やかな雰囲気の中で卒業式は終了した。

ち ほう だよ  
地方便り



「中高年のリекреーション」  
去る 2010 年 9 月 26 日、パラナ第 5 教化支部の白鳩会、相愛会、壮年若鳩、母親教室と子供会がシヤカラ・ベラ・ビテで、ラジオ体操、笑いの練習、盆踊り、仮装大会、その他、盛り沢山のプログラムで参加者同士の親睦を深めた。参加者は 194 名。

「手芸教室の開催」  
去る 2010 年 10 月 9 日、パラナ第 5 教化支部が中高年向きの手芸教室を開き、会員同士の親睦を深めながら色々な作品をつくり、共に楽しい時間を過ごした。



16/09/2010 ~ 28/01/2011 えん かん きょうりよくしゃ ほう めい  
圓環ご協力者ご芳名 (単位・レアイス)

ソロカバナ 1 --- 教化支部 様 300,00	ゴイアス ----- 友広三 様 50,00
聖市 1 ----- 横山ジョン 様 350,00	々 ----- 市居みち子 様 30,00
聖市 2 ----- 重松富子 様 20,00	々 ----- 高橋たか子 様 30,00
聖市 4 - ポンテ・ラーザ白鳩会 様 200,00	聖市 5フレゲジア・ド・オ相・白会 様 200,00
ABC ----- 伊藤善作 様 40,00	聖市 2 -- ビラ・ソニア相愛会 様 200,00
ノロエステ 2 ----- 教化支部 様 200,00	パラナ 3 ----- 神谷イワオ 様 100,00
聖市 2 ----- 竹内忠夫 様 50,00	々 ----- 神谷ヒデ 様 100,00
ノロエステ 1 --- 教化支部 様 82,25	聖市 2 ----- 橋本徳栄 様 30,00
南マ州 ----- 教化支部 様 300,00	聖南西 ----- 斉藤昭次 様 30,00
聖市 6 ----- 荒木ハツメ 様 30,00	パラナ 1 ----- 高岡輝 様 50,00
パラナ 2 ----- 佐藤邦子 様 50,00	々 ----- 古沢鉄夫 様 20,00
パラナ 6 ----- 砂山アリセ 様 50,00	聖市 5 アグア・フリーヤ白鳩会 様 200,00
々 ----- 宮本幸子 様 50,00	ABC ----- 前園前光 様 100,00
聖市 4 - グアルリオス相・白会 様 200,00	聖市 1 --- ジャバクアラ白鳩会 様 250,00
々 ----- 岩坂彦太郎 様 30,00	本部 ----- 塩椎俳句会 様 200,00
々 ----- 松浦昭子 様 30,00	バイア ----- 古市マチ子 様 50,00
々 ----- 森愛子 様 30,00	パウリスタ 1 ----- 教化支部 様 200,00
聖北 1 ----- 中原加代子 様 50,00	聖市 ----- 村上光子 様 60,00
聖市 3ジョアニーザ相・白会 様 150,00	聖市 6 ----- 藤川恭信 様 200,00
聖市 6 ----- 相・白連合会 様 200,00	セントラル 2 ----- 教化支部 様 200,00
ABC ----- 田丸生雄 様 150,00	聖市 5 ジャ・トレメンペー相・白会 様 300,00
聖市 2ボンフィグリオリ相・白会 様 200,00	聖市 5 --- カザ・グランデ白鳩会 様 300,00
アララクアラ 3 -- 教化支部 様 100,00	
々 --- バレットス相・白会 様 100,00	
々 ----- ガイラ相・白会 様 100,00	
聖市 2 ----- 重松富子 様 20,00	
パウリスタ 1 ----- 教化支部 様 200,00	
聖市 2 ----- 教化支部 様 300,00	

◆ 楽しいとは心が歓ぶことだ。心のほかに楽しいものはない。  
外から奪ってきて楽しさが出来るものではない。  
(智慧の言葉)

(2010年度) かくきょう か し ぶ べつ ほう し ほう こく  
各教化支部別ご芳志報告 (単位・レアイス)


聖市第1教化支部 ----- 2.170,00	パウリスタ第1教化支部 ----- 1.350,00
聖市第2教化支部 ----- 1.420,00	パウリスタ第2教化支部 ----- 600,00
聖市第3教化支部 ----- 600,00	ソロカバナ第1教化支部 ----- 1710,00
聖市第4教化支部 ----- 930,00	ソロカバナ第2教化支部 ----- 595,00
聖市第5教化支部 ----- 1.000,00	パラナ第1教化支部 ----- 720,00
聖市第6教化支部 ----- 1.180,00	パラナ第2教化支部 ----- 100,00
ABC ----- 390,00	パラナ第3教化支部 ----- 1.530,00
セントラル第1教化支部 ----- 300,00	パラナ第5教化支部 ----- 30,00
セントラル第2教化支部 ----- 200,00	パラナ第6教化支部 ----- 100,00
聖北第1教化支部 ----- 120,00	南マ州第1教化支部 ----- 200,00
聖南西教化支部 ----- 30,00	南マ州第2教化支部 ----- 350,00
サントス教化支部 ----- 300,00	ゴイアス教化支部 ----- 110,00
アララクフラ第1教化支部 ----- 150,00	バイア ----- 150,00
アララクアラ第2教化支部 ----- 300,00	伝道本部扱い(塩椎の会) ----- 400,00
アララクアラ第3教化支部 ----- 300,00	
ノロエステ第1教化支部 ----- 82,25	
ノロエステ第2教化支部 ----- 200,00	

(2010年度ご芳志総計) ----- 17.617,25


一年間、多くの読者の方々より、円環発行へのご芳志をいただき、心より深く感謝申し上げます。

「お詫び訂正」

本年の『円環』1・2月号の11ページと16ページにご本人と異なった写真が掲載され、大変ご迷惑をお掛けしました。訂正してお詫びいたします。



\* ソロカバナ第1 - 白鳩連合会長 - 船田範子エジナ (敬省略)



\* 生長の家ブラジル全国子供大会入賞者第一位紹介 (お話一こども・B) セントラル・1 - 郷土山 ひかり

\* 絵画ジュニアB - 5位 - 郷土山えいじ・セントラル1 (訂正前 - 聖市1)

だいち かみ ね せんぞ  
 “大地は神で、根は先祖です。  
 みき りょうしん しょうちょう えだは し そん  
 幹は両親を象徴し、枝葉は子孫です。”

き じつ ねん がつ か ご ぜん じ  
 期日：2011年4月10日 午前9時より  
 ば しょ なんべいれんせいどうじょうしきち ない ほうぞうじんじゃ  
 場所：イビウーナ南米練成道 場敷地内・宝蔵神社

せんぞ いの つう みき りょうしん  
 先祖への祈りを通じて、幹である両親、そして  
 “根”に感謝すると神の生命が子孫に流れ入ります。  
 かんしゃ おも せんぞ いの ぜんぎょう  
 感謝の思いをこめてご先祖に祈ることは善行であ  
 り、自然の結果として幸福が訪れます。勿論、祈  
 りの目的は個人的な祝福を得ることではありません  
 せん。然し、ご先祖の霊に愛と感謝の心を捧げ、  
 しんり つた ひと かなら せんぞ ふか まも  
 真理を伝える人は、必ずご先祖に深く護られると  
 いうことは事実であります。ご先祖に、良い念を  
 おく い か ふ こう こ  
 送ると、如何なる不幸もやって来ないのであります。



ほう ぞう じん じゃ たい さい  
 ブラジル宝蔵神社大祭

ぜんこくりゅうざんじ むえんれいくようとうくようさい  
 全国 流産児無縁霊供養塔供養祭

(まつ れいはい ちか そうはくし ぶ  
 お祀りする霊樟は、お近くの相白支部か、  
 また きょうか し ぶ もと くだ  
 又は教化支部にてお求め下さい。)



あなたの人生が変わる

しん せい かい はつ いっ ばん けん れい れん せい かい  
 「神性開発一般献労練成会」

みんなで参加しましょう！

わたし あか じんせい  
 私も、あなたも 明るい 人生のために

き じつ ねん がつ か か  
 期日：2011年4月20日～24日

ば しょ なんべいれんせいどうじょう  
 場所：イビウーナ南米練成道 場

たんとうこうし  
 「担当講師」

とくべつしょうたい  
 ＊特別招待＊



さきしまひこえ こうし  
 笹島彦栄 講師



よこやますみこ こうし  
 横山澄子 講師



はしもときよし こうし  
 橋本清 講師



なかむらあつこ こうし  
 中村厚子 講師



い しい ほんぶ こうし  
 石井ルイス 本部講師